

## あとがき

### 編集顧問

糸満盛憲  
越智隆弘  
荻野利彦  
小野啓郎  
竹光義治  
守屋秀繁  
富田勝郎  
山室隆夫  
矢部 裕

### 編集主幹

菊地 臣一  
編集委員  
金谷文則  
黒坂昌弘  
清水克時  
高岸 憲二  
土屋 弘行  
戸山芳昭  
内藤正俊  
吉川 秀樹

### 編集同人

井形高明 澤村 誠志  
生田義和 田辺 剛造  
井樋栄二 田畑 四郎  
岩田 久 玉置 哲也  
岩本幸英 中村 耕三  
大井利夫 馬場 久敏  
小野村敏信 浜西 千秋  
加藤博之 佛淵 孝夫  
金田清志 三笠 元彦  
腰野富久 三浦 隆行  
紺野 慎一 持田 讓治  
榊田喜三郎 山田 治基  
酒 匂 崇 吉川 靖三  
桜井 実

3月15日に安倍晋三首相が環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)への交渉参加を表明されました。TPPは民主党政権の時から懸案事項であり、幅広い分野を対象とした自由度の高い包括的な連携協定です。輸出の伸びが期待される大手企業の製造関係者にとっては朗報になります。一方、関税の撤廃により諸外国から米などの安い農作物の流入が予想される農業界はとても心配しています。肝心の医学・医療分野への影響が気懸かりです。現在、医薬品や医療機器の輸出入の自由化、医療関連人材の受け入れや流出の活性化、医療保険への海外からの参入、混合診療の解禁、医学・医療の営利産業化などが考えられており、賛否両論が渦巻いているようです。肯定的には医学研究や医療技術の競争の激化によりレベルが向上すると考えられています。また、現在の公的医療保険制度と経済状態が続くことで危惧される“医療が平等に貧しくなる”ことからの脱却も期待されています。一方、高額な医薬品・医療機器の普及や医療技術の高度化・高価格化により医療費が高騰する恐れがあります。また混合診療の拡大による公的医療保険制度の縮小や崩壊も懸念されています。何だか市場原理主義が生んだ先端医療の華々しさの陰に無保険者が6人に1人の割合でいる米国の医療を彷彿とさせます。

さて、今月号の視座は、未曾有の超高齢社会の到来と膨大な国債残高で喘いでいるわが国の今後の運動器診療についての卓見です。現在の経済状況のまま社会保障費が急上昇し続けると診断方法や治療手段がさらに制約を受ける懸念があります。冒頭に述べたTPPへの参入の功罪を含め将来の医療経済のあるべき姿についての議論が必要になっています。連載には竹光義治旭川医科大学名誉教授の「脊柱後弯症の手術」と小野啓郎大阪大学名誉教授の「『先天性』股関節脱臼の治療史」があり、それぞれの歴史的背景と発展してきた経緯を具に知る絶好の機会です。調査報告、臨床経験、症例報告などにも豊富な話題とともに実際的に役立つ知識が満載されています。

医療は政治や経済に左右されますが、高レベルの知識や技術を維持しておくことが環境の変化に対する医師個人の最大の備えになります。また常に知識を革新しup-to-dateな情報に接しておくことも不可欠です。運動器診療のプロには本誌「臨床整形外科」が打って付けです。今月号もすべての整形外科臨床医の言わば伴侶として引き続きご愛読お願いいたします。

(内藤正俊)

## 臨床整形外科 (第48巻第5号)

2013年5月25日発行(毎月1回25日発行)

定価 2,625 円(本体 2,500 円+税 5%)

2013年 年間購読料(税込, 送料弊社負担)

冊子版 29,400 円

冊子+電子版/個人 34,400 円

冊子+電子版/共有 38,900 円

電子版/個人 29,400 円

電子版/共有 33,900 円

E-mail rinseige@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinseige>

オンライン投稿 ID: rinseige パスワード: rinseige

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電話 編集室直通 (03)3817-5702(担当: 石井・山崎)

販売部直通 (03)3817-5659

ファクシミリ (03)3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 (株)アイワード 電話 (011)241-9341

広告申込所 (株)医薬広告社 電話 (03)3814-1971

・Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo © 2013, Printed in Japan.

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

・本誌を無断で複製する行為(複写, スキャン, デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的(診療, 研究活動を含む)で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・**JCOPY** (株)出版者著作権管理機構委託出版物)

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は, そのつど事前に(株)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の承諾を得てください。